

2024年 少林寺拳法鹿児島県大会  
大会実施要項(案)

開催日 2024年6月30日(日)

会場 いちき串木野市総合体育館

鹿児島県少林寺拳法連盟

## 2024年度少林寺拳法鹿児島県大会要項(案)

- 日時 2024年6月30日(日) 8:30~13:40 開会式 09:30
- 2 場所 いちき串木野総合体育館  
いちき串木野市生福5298-3 TEL 0996-32-8588
- 3 主催 鹿児島県少林寺拳法連盟
- 4 後援 鹿児島県教育委員会、南日本放送、南日本新聞社
- 5 大会役員

会 長 森山 裕 (衆議院議員)  
副会長 吉留 厚宏 (県議会議員)  
副会長 山本 求之 (元県議会議員)  
副会長 谷川 洋造 (元県議会議員)  
副会長 堀之内芳平 (元県議会議員)  
副会長 柿元 一雄 (元市議会議員)

### 6 種目

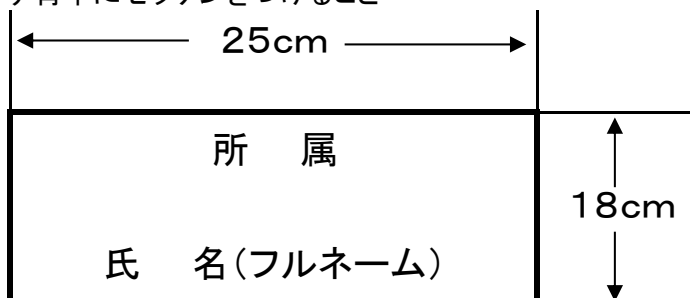
組演武		単独演武		運用法				
1	小学生	黄帯の部	1	幼児の部	白帯・黄帯・緑帯の部	1	男 子	運用法
2		緑帯の部	2	小学生	白帯の部	2	女 子	運用法
3		茶帯・有段の部	3		黄帯の部			
4	中学生	中学生男子の部	4		緑帯の部			
5		中学生女子の部	5		茶帯の部			
6	一般男子	級拳士の部	6		有段の部			
7	一般男子	有段の部	6	中学生	有段の部			
8	一般女子	級拳士の部	7		級拳士の部			
9	一般女子	有段の部	8	高校生	有段の部			
10	女子マスターズの部		9		級拳士の部			
11	夫婦の部		10	大学生	有段の部			
12	親子の部(小学生)		11		級拳士の部			
13	女子 護身技法の部		12	一般	有段の部			
<b>団体演武</b>			13		級拳士の部			
14	小学生の部		14	マスターズの部	有段の部			
15	中学生の部		15		級拳士の部			
16	一 般 の 部							

## 7 参加資格

- (1) 鹿児島県内に居住する一般財団法人少林寺拳法連盟に登録している拳士
- (2) 高校生以下の者が参加する場合は、保護者の同意を必要とする

## 8 ゼッケン

競技者は必ず背中にゼッケンをつけること



## 9 競技上の規定及び方法

- (1) 一般財団法人少林寺拳法連盟の定める競技規則及び審判規則に基づき実施する
- (2) 競技の部参加者は少林寺拳法の本質、目的を認識し明朗闊達、正々堂々と競技を行う
  - ア 原則本選のみとする
  - イ 5名の審判員で2コートとし、点数表示は0.5単位を採点
  - ウ 審判員の服装は原則として少林寺拳法審判員規則「審判員服装規定」に基づいたものとする
  - エ 補助員の服装は原則としてスラックス、白のワイシャツ、運動靴とする
  - オ 技術的な減点が発生した場合は、主審・副審・監査で協議し、その旨を競技者に伝えること  
競技者へ説明後、主審は直ちに審判長に報告する。
  - カ 採点結果について抗議等は代表者・責任者を通して競技終了後 20分以内に審判長に申し出ること

## 10 表彰規定

- ① 授与数 ・出場数5組以上で最優秀・優秀・優良賞を設ける  
・出場数4組で最優秀・優秀賞各1組  
・出場数3組以下の場合1組のみとして、以下のような基準とする  
**最優秀270点以上・優秀260～269点・優良250～259点**  
・出場6組以上は約5割を表彰の対象とする 例(12組: 最1 優2 良3)  
・賞状のみメダルは無し(検討中)

大会会長賞	組演武・団体演武・の最優秀、優秀賞のポイント合計で決める 最優秀2ポイント・優秀1ポイント 同点の場合は最優秀の多い方、決まらない場合は優秀賞・優良賞で決定
後藤賞	中学、小学生団体演武の最優秀に盾を授与
徳永賞	小中学生の優秀作文に賞状授与 400字詰め原稿用紙2枚以内(大会当日1組づつ披露)
特別賞	大会実行委員会の判断に委ねる (例: 出場拳士で高齢者、障害者等)

## 11 安全対策 出場拳士はスポーツ保険に加入していること

● 日程

- 8:30 開館 大会関係者は8:00入場し会場設営
- 8:40 会場準備(9:00時までに完 拳士は9:00集合)
- 9:15 代表者・運営関係者打ち合わせ
- 9:30 開会式
- 開会宣言 福田 副理事長
- 太鼓 (城西高校より借用予定) ( )
- 鎮魂行 主座
- 打棒
- 模範演武 未定 ( )
- 大会会長挨拶 ( )
- 県連理事長挨拶 新名主 理事長
- 来賓紹介
- 祝電披露
- 会長杯返還・レプリカ授与
- 競技場の注意 審判長
- 準備運動
- 基本演練
- ①上段振り子突10回 ②蹴上10回 ③内受突下受退(右中段より)10回
- ④上中蹴三連攻(左中段より)10回 ⑤天地拳第1系
- 10:00 競技開始 2コート
- 1ラウンド 単独演武
- 2ラウンド 組演武
- 3ラウンド 団体演武
- 12:00 競技終了
- 休憩
- 12:20 全国大会予選会 (出場拳士以外は、後方着座して観覧)
- 13:00 拳士集合
- 徳永賞発表
- アトラクション(未定)
- 13:45 閉会式
- 成績発表 ・ 表彰
- 閉会宣言 福田 副理事長
- 作務
- 14:00 解散

● 準備・役割分担

項目	内容	担当(未定)
申請書	少林寺拳法連盟本部への大会許可申請提出	大会実行部
会場予約	1年前予約	大会実行部
会場設営	コート・審判員机・椅子等	拳士全員
要項作成	日程・競技種目・規定演武・役割分担など	大会実行部
賞状購入・印刷	枚数確認・発注・印刷依頼	大会実行部
文書作成	申し込み用紙・審査用紙・参加状況集約	大会実行部
出場拳士名簿	種目別名簿・コート割・受賞数確認	大会実行部
パンフレット作製		
備品確認	案内看板・テープ類などの在庫・不足分手配	大会実行部
メダル購入	大会会長賞 レプリカ	広報普及部
後援依頼	教育委員会・南日本放送	広報普及部
	南日本新聞社賞の手続き ※今回も実施	広報普及部
招待状		広報普及部
審判	コート別審判の割り当て(2コート)	大会実行部
来賓席席札		大会実行部

● 当日役割分担

審判部長	大会前の競技上の注意 採点結果抗議への対応等	
審判員打合	コート入場時・採点表示等 審判員・補助員への確認と指示	
補助員確認・指示	補助員の配置と指示	
受付・接待	受付・接待	広報普及部
場内アナウンス	開会式・閉会式・成績発表・進行マニュアルの準備	大会実行部
集計・賞状	採点表作成・採点集計・賞状作成・大会会長賞	
統制	拳士招集・入場・退場	
会計		徳田代表

● 終了後の業務

大会結果報告書		広報普及部
報道機関への報告		広報普及部
アンケート		大会実行部
決算報告		徳田代表
来年度の予約		大会実行部

## 11 参加申込み方法

- 1 所定の「参加申込書」に必要項目を記入の上、2024年5月10日(金)までに下記宛にメールでの送信もしくは郵送にて提出すること

申込先	宛先	提出
鹿児島県少林寺拳法連盟 県大会実行委員会	〒895-1804 鹿児島県薩摩郡さつま町船木179 TMマンション301 山本 久雄 TEL 090-1926-1939 Mail sendai.k.d@gmail.com	一部

## 2 提出書類

- ・大会申込書 ・競技出場者申込書 ・大会補助員申込書 ・兼籍確認書 ・スポーツ保険

## 3 参加費用(1名) 1,500円

## 12 参加上の注意

- (1) 出場拳士はスポーツ保険に加入していること
- (2) 参加者は、各自の責任において、健康管理に十分に配慮の上、参加すること。
- (3) 競技中に発生した疾病や傷害については、応急処置は行うが、その後の処置については各自の責任において行うこと。
- (4) 参加者は、健康保険証もしくはそのコピーを持参すること。
- (5) 所有物や貴重品については、各自で責任を持って管理すること。万が一、盗難や破損、紛失があっても主催者は、一切責任を負わないものとする。
- (6) 天災等の緊急時は、施設管理者及び鹿児島県少林寺拳法連盟の指示に従うこと。
- (7) その他、参加者は主催者側で規定する事項を遵守すること。

## 13 徳永賞について

- |       |  |
|-------|--|
| ① テーマ | 自由                                       |
| ② 枚数  | 400字詰め原稿用紙2枚以内                           |
| ③ 様式  | 書き出しに以下を明記のこと<br>1、テーマ 2、所属拳友会 3、学年 4、氏名 |
| ④ 賞   | 中学生、小学生の部各々に最優秀1名、優秀1名の4名を表彰する           |
| ⑤ 締切日 | 2024年5月10日(金)まで                          |
| ⑥ 送付先 | 890-0014 鹿児島市草牟田2丁目8番39-1<br>担当:新名主 公哉   |
| ⑦ 発表  | 競技終了後一人ずつ発表                              |

● 演武細則 \*すべての種目において3人掛けは不可

○ 団体演武（4名・6名・8名）

※出場拳士は6・8名を基本として複数出場可。

※4名での出場も可とするが同一修練場所単位での複数出場は不可

種目	出場条件	備考
一般	武階不問・中学生以下出場不可(4・6・8名)	最上級者が使用できる技まで
中学生	中学生・小学生混合可(4・6・8名)	学年・性別・武階不問
小学生	小学生のみ(4・6・8名)	学年・性別・武階不問

○一般組演武(一般組演武ランク差規定について県大会では不問とする)

※組演武に出場する拳士は単独演武に出場は不可、但し団体演武、夫婦演武・親子演武に出場は可

種目	組み合わせ	備考
一般男子有段の部	武階の差不問	自由組演武 技の使用は上位の範囲まで  (1分30秒～2分)
一般女子有段の部	武階の差不問	
一般男子級拳士の部	武階の差不問 男女の組み合わせは男子の部	
一般女子級拳士の部	武階の差不問 女子同士	

○ 中学生組演武

有段者	武階の差不問	自由組演武 男女の組み合わせは男子  (1分30秒～2分)
級拳士	武階の差不問	
	白帯は出場不可	

○ 小学生組演武

有段者	武階の差不問(黒帯と茶帯の組み合わせ可)	自由組演武  (1分～1分30秒)
茶帯拳士	武階の差不問(茶帯と緑帯の組み合わせ可)	
緑帯の部	武階の差不問(緑帯と黄帯の組み合わせ可)	規定組演武 時間測定せず
黄帯の部	黄帯と白帯可	

○ 組演武

種目	出場条件	備考
男子マスターズの部	男性45才以上・女性35才以上 武階問わず	(1分30秒～2分) 「宙で回転する受け身」の禁止
女子マスターズの部	35才以上・武階問わず・女子のみ	
夫婦の部	年齢・武階問わず	(1分30秒～2分)
女子護身技法の部	全ての構成を女性が守者で最後の極めを行う	
親子の部	子供は小学生と祖父母と孫の組み合わせ可 剛法・柔法問わず、子供が各構成最後の極め、固めを行う	(1分～1分30秒)

○ 単独演武（6構成）

小学生	白帯	指定科目	中学生	茶帯	自由
	黄帯		中学生	有段	
緑帯	一般男女		級	指定自由	
中学生	白帯	自由	有段		
	緑帯	幼児	白・黄・緑帯	小学生白帯規定と同	
小学生	茶帯	指定科目	マスターズの部	級	指定自由
	有段			有段	

※単独演武マスターズの部は50才以上

演武時間：幼児・小学生 計測しない / 中学生以上 1分～1分30秒

○ 運用法

男子運用法	二人一組・武階が異なっても可 他拳友会との組み合わせも可	二段以上 中学生不可
女子運用法		

① 財団法人少林寺拳法連盟公認防具着用

フェイスガード・ボディプロテクター・ファールカップ

薄手袋の着用可 ヘッドガード+公認拳サポーター

② 組(単)、団体、運用法の3種目兼ねても可

③ 個人の競技ではなく2人1組の点数で競う(50点満点)

\*レフリーは県連の審判が行う

\*攻者、守者に分けてそれぞれ1分30秒(ランニングタイム)ずつ行う

④ 1所属団体2人組の出場であるが、1名しか出せない場合は、他の所属団体との組み合わせも可とする

但し、その際は相手拳士も申し込み用紙に明記すること

視点	配点	採点	
① 姿勢と心構え及び印象	10点	/10	
② 守者としての内容の評価(内容を重視する)	20点	A拳士 /10	B拳士 /10
③ 攻者としての結果の評価	20点	/10	/10
合計点	50点	/10	

9～10	非常に良くできている
7～8	できている
4～6	あまりできていない
1～3	ほとんどできていない



## 2024年度 小学生黄・緑帯 規定組演武（未定）

### 2024年度 小学生黄・緑帯 規定組演武

※ 規定演武は、時間の計測は行わない

小学生黄帯の部						
演武の順		構え	A拳士	B拳士	修得級	内訳
1	内受突(裏)	対構	中段構より上段逆突	一字構より内受突	7級	中段突のあと下受退り(順・開退り問わず)
2	上受突(表)	対構	一字構より上受突	中段構より手刀打	7級	差替入身より上受・中段突・熊手突のあと下受退り
3	流水蹴(後)	開構	中段構より上段逆突	一字構より流水蹴	6級	流水受・蹴のあと十字足退り
4	轉身蹴	対構	一字構より轉身蹴	中段構より上段逆突	6級	蹴上のあと下受退り
5	小手抜	開構	内手首を順手に握り引く	中段構より小手抜	6級	目打・抜き・裏拳打ち・中段突したあと下受退り
6	天地拳第1	対構	中段構より4～7	中段構より1～3	6級	上受・二連受・払受・蹴上のあと開退りながら下受

小学生緑帯の部						
演武の順		構え	A拳士	B拳士	修得級	内訳
1	打上突(裏)	対構	中段構より上段逆突	一字構より打上突	4級	後手打上受・前手中段突のあと下受退り(順・開退り問わず)
2	竜王拳第1	開構	中段構より小手抜連攻	中段構より内手首引く	5級	小手抜き・裏拳・中段突・上段突き・蹴りまで
3	片手寄抜	開構	中段構より外手首引く	中段構より寄抜	5級	熊手突のあと下受退り
4	下受順蹴	対構	八相構より下受順蹴	一字構より中段順突	5級	前足で蹴上のあと十字足退り
5	天地拳第1	対構	中段構より1～3	中段構より4～7	6級	上受・二連受・払受・蹴上のあと開退りながら下受
6	外押受突	対構	一字構より外押受突	中段構より横振突	3級	外押受より中段突・熊手突のあと下受け退り(順・開退り問わず)

**2024年度 単独演武の技の構成について**

○ 園児・小学生は規定演武とし、時間の計測は行わない。

○ 中学生単独演武(全中要項参照)

・単演基本法形以外の動き(体捌き・連反攻)も可とする。(指定の無い自由演武。ただし、武階による制限あり。)

共通

・武階に応じた技を使用する。

・演武者が「見習・6級・5級・4級」の場合は、3級科目までの技が使用できる。

・演武者が「3級・2級・1級」の場合は、初段科目までの技が使用できる。

・資格外の技の使用は、一技につき総合点より10点減点する。時間は1分～1分30秒

○ <指定単演基本法系> 有段・一般男女単独演武

○有段の部

天地拳第一系～六系、義和拳第一系～二系、龍王拳第一系、白蓮拳第一系、龍の型、紅卍拳、逆小手単演

○級拳士の部 一級～三級

天地拳第一系～六系、義和拳第一系～二系、龍王拳第一系、白蓮拳第一系、逆小手単演

○級拳士の部 四級～六級

天地拳第一系～四系、義和拳第一系～二系、龍王拳第一系、逆小手単演、

上記の指定単演基本法系から選定し、時間は1分～1分30秒とする。

確認 義和拳、白蓮拳、紅卍拳は一方向で1構成とする

**[幼児・小学生 規定単独演武]**

※白帯の幼児・小学1～2年生は各拳友会付き添えが号令を掛けての演武でも可

構成順	園児・小学生白帯の部	小学生の黄帯の部	小学生の緑帯の部	小学生の茶・黒帯の部
第1構成	上段振り突(開足中段構) (右拳より6回)	上段振り突(開足中段構) (右拳より6回)	天地拳第一 (左中段構より)	天地拳第三 (左一字構より)
第2構成	蹴上(開足中段構) (右足より6回)	蹴上(開足中段構) (右足より6回)	片手巻抜～裏拳、中段突(右中段構より)	天地拳第四 (左一字構より)
第3構成	内受突～下受順退り (左前一字より)	内受突～下受順退り (左前一字より)	義和拳第一(左前より) (一方向のみ行う)	天地拳第五 (右一字構より)
第4構成	上受突(表)～熊手突 (左前一字より)	上受突(表)～熊手突 (左前一字より)	片手寄抜～上段熊手打(右中段構より)	両手寄抜より熊手突 (左中段構より)
第5構成	中段逆蹴～下受退り (左中段構より)	小手抜き～中段突 (右中段構より)	下受順蹴より上中二連突 (左八相構より)	白蓮拳第一(左前より) (一方向のみ行う)
第6構成	天地拳第一 (左中段構より)	天地拳第一 (左中段構より)	龍王拳第一 (右中段構より)	天地拳第六 (左一字構より)

## 県大会実施について

大会実行委員会

実行委員長 山本 久雄

- 県大会の成績上位者が、全国大会を辞退するケースが多く見られることから、今年度の県大会は、全国大会の予選を兼ねずに実施する。  
なお、全国大会の予選会は、県大会の競技終了後、同会場で実施するが、別途に詳細を定める。
- 鹿児島県大会実施要項(案)について検討事項
  - ・参加者の減少、物価高による経費の負担増に伴い大会参加費を1,500円とする。
  - ・昨年までは、全国大会の選考会を兼ねた種目が設定されていたが、拳士数の減少や多くの参加を、促すことを考慮し、競技種目の一部変更を行う。
  - ・一般組演武は4種目に分かれているがこれを「級拳士の部」と「有段の部」の2種目にする。  
(R5年の出場1組)
  - ・参加のしやすさを考慮し、各組演武の組み合わせは武階の差を不問とする。
  - ・単独演武は、各所属より一種目二人まで出場可とする。但し、道場等の環境もあるので、申し出があった場合は、大会実行委員会の判断に委ねる。
  - ・大学生の出場については、一般の部として扱う。
  - ・小学生組演武規定、小学生単独演武規定、中・高校生規定単独演武内容については、技術部で検討する。
  - ・審判は5名制とし、競技は2コートで実施。演武の採点は0.5点刻みを採用する。
  - ・審判10名で同時進行の場合、県連所有の採点掲示板は1冊不足するため、鹿児島城西高校等より借用する。
  - ・賞状のみとするが、メダルは予算により検討する。
- 大会実行委員会は、鹿児島県連盟規約 内規規程第1章第6条(専門部)第3項(2)に基づき以下の構成とする。
  - ・大会実行部 全員 ・県連副理事長 ・技術部 1名 ・広報普及部 1名 ・地方審判員 1名